

第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)に向けて

社団法人東京都山岳連盟 会長 佐藤 旺

第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)は、昭和24年第4回大会、昭和34年第14回大会以来、54年振り3回目の東京都開催となります。

山岳競技は、社団法人東京都山岳連盟の主管により、平成25年10月4日～6日の3日間、東久留米市スポーツセンター特設会場で、また大会に先立つ第67回国民体育大会関東ブロック山岳競技大会は、本年7月28日・29日(土・日)の2日間同会場にて開催されます。

この大会を成功裡に運営するには、参加選手の皆さんをはじめ、大会運営に係わる競技審判ならびに競技運営委員のご協力がなければ叶いません。本年2月4日・5日に国立オリンピック記念青少年総合センター、2月26日には東久留米市役所にて、競技審判ならびに競技運営員認定研修を開催しましたところ、両会場合合わせて150名を超す皆さん方に研修を受けていただきました。誠に心強い限りでございます。

大会成功に向けて、都岳連役員一同、東京都体育協会、日本山岳協会、開催担当の東久留米市の関係各位のご協力を仰ぎながら主管団体として万全の準備を進めてまいる所存で

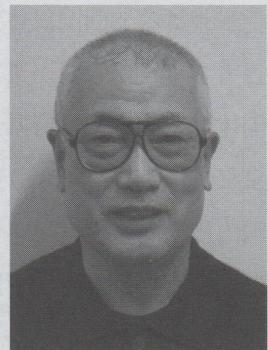
す。

都岳連は、公益法人法による移行につき、当初予定の東京都認可一般社団法人への移行を検討してまいりましたが、諸般の状況を勘案し、新たに内閣府認可公益社団法人へ移行することを理事会で決定し、2月21日に開催された通常総会にてこの方針変更案のご承認をいただきました。

最終定款案ならびに公益社団法人移行後の新理事・監事に関しては、改めて5月22日に開催される通常総会にて、会員皆さんにご紹介し、承認をいただく予定しております。

平成24年度の都岳連活動は来るべき東京国体の準備と公益社団法人への移行準備作業を主たる事業活動として行ってまいりますが、同時に平成23年度一般事業の継続的拡大、組織の拡充なども併せて進めてまいります。

今後とも、加盟団体各位、個人会員各位また協賛会員の皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力を切にお願いいたします。



東京国体に向けて

副会長 寺内 丈行

来年は第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会が東京都で開催されます。国体は全国47都道府県を持ち回りで開催され、東京都は実に54年ぶりに行われます。国体は国内最大のスポーツイベントで、40競技が2週間に渡り都内各地で開催され、オープン競技や、デモンストレーション競技も各市区町村で行われます。東京都は「スポーツ祭東京2013」と言う愛称で、主に多摩地区、島嶼地区を中心として開催します。マスコットは東京都の鳥「ゆりかもめ」と「アスリート」を合体させた造語で「ゆりーと」とネーミングされました。

クライミング競技も本国体の正式種目として、リード競技とボルダリング競技を行いますが、視覚障害者大会やジュニア体験クライミング大会などもデモンストレーション競技として、国体山岳会場と同じ東久留米市スポーツセンター特設会場で開催されます。

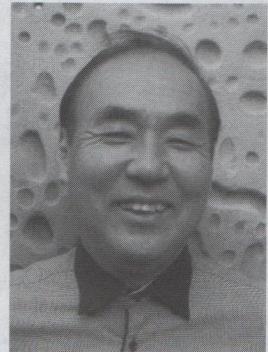
国体山岳競技は、大分国体よりクライミング競技のみとなり、選手・監督の技術的向上も著しく、審判、役員の質的向上も要求される様になってきました。

本年、2月4日～5日に国立オリンピック記念青少年総合センターで行なわれた関東地区競技部研修会と、同月26日に東久留米市役所大会議室で行われた競技運営委員東京都特

別認定研修会では両日共会場に入り切れないので多くの都岳連加盟団体の方々に参加して戴きました。

これまで、東京国体については開催地東久留米市がなかなか始動せず、多くの問題を抱え本当に東久留米での開催は出来るのかと、危惧したこともありました。しかし、今回の認定研修会で200名を超える多くの岳友に参加して頂いた事に勇気付けられ、やっと国体に向けてのスタートラインに立つ事が出来たと感じられました。改めて参加して頂いた多くの方々に御礼を申し上げます。登録には1人2,000円の登録料がかかりますので、研修会に参加して頂いた方々全てを登録する訳には行きませんが、登録をするしないに関わらず、研修を受けた方々には国体では先頭に立ってご協力を得なければ成功しません。

今年は、第67回国体関東ブロック大会山岳競技会が東京都山岳連盟主管で、7月28日(土)～29日(日)に、東久留米スポーツセンターで開催されます。ブロック大会は、「ミニ国体」とも言われ、競技方法、競技規則も国体に準じ、関東地区の1都7県（群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）の代表選



手による競技が行われ、今年の岐阜国体出場をかけて競われます。

ブロック大会の競技種目はリード競技、ボルダリング競技の2種目を成年女子、少年男子、少年女子の3種別で競い、成年男子については国体が47都道府県対抗と言う性格からブロック大会に参加しなくとも1チームずつ本国体に参加できることになっています。

役員予定の方は、東京国体を迎える前に予行演習的な実地練習が出来ますので、ぜひ参加し、経験を積み、本国体を最高の状態で開催できるようお願いしたいと思います。

東京都山岳連盟は全国の山岳連盟（協会）の中で最大の組織力を持っています。加盟団体数だけでも全国の山岳会の約1割が東京都山岳連盟所属です。中には1県でたった1つの山岳会しかない岳連もあります。そんな都岳連が主管する国体はどんなに素晴らしいものかと全国からは多くの期待が寄せられています。

関東ブロック大会、国体リハーサル大会、そして東京国体に全国から参加する多くの選手、監督、役員の方たちにさすが東京都山岳連盟が主管する国体だと云わせる組織作り、大会運営を行わなければなりません。いい加減な運営や軽はずみな行動は都岳連加盟団体として恥かしい事です。

昨年山口県で開催された国体は実に見事なものでした。実行委員会が一枚岩で基礎を固め、競技役員はてきぱきと業務をこなし、参加した選手、監督それに他県から派遣された

多くの役員もその運営の素晴らしさに絶賛でした。それもそのはず、山口県は6年間に渡り国体に向けての組織作りとそれぞれの運営検証を行なって来ましたからです。東京国体まであと1年半です、始動が遅れたとは言え、都岳連としてそれを超えるほどの固い絆と連携プレイを見せて国体を迎えたいと思います。

次の東京国体まで早くも47年後です。一世一代の大仕事に関われる私達はとても栄誉な事だと思います。だからこそ、都岳連全体が一丸となってこの国体を成功させなければなりません。そのためには多くの役員、補助者、ボランティアの方々が協力して、積極的に関わらなくてはなりません。加盟団体の方々には多少のご負担もかかるかと思いますが、都岳連加盟団体の会員1人1人の名誉と誇りのためそして何より東京都山岳連盟のためにお力を貸し下さい。

都岳連競技部はこの間、国体開催に向け指針の作成やマニュアル作り、運営だけでなく選手の育成も力を注いできました。強豪の揃う関東ブロックで戦うには中途半端な練習では追いつけません。コーチ陣も日本トップクラスの選手にお願いし、小学生の頃から東京国体に向けた選手の育成をしてきました。来年の国体には応援してくださる多くの方々に応えるべく選手が揃ってきました。

来年の東京国体までに、都岳連が主催または主管として開催するクライミング大会は、
①ボルダリング東京カップ（4月7日・ロックランズ）、②リード東京カップ（4月22日・

東久留米スポーツセンター)、③関東ブロック大会(7月27日~29日・東久留米スポーツセンター)、④クライミングフェスティバル(10月21日・東久留米スポーツセンター)、⑤68回国体リハーサル大会/リードジャパンカップ(2013年6月1日~2日・東久留米スポーツセンター)、などがあります。

また主催・主管ではありませんが、⑥第67回国体リハーサル大会・リードジャパンカップ(6月9日~10日・岐阜市)、⑦第67回国民体育大会(9月30日~10月2日・岐阜市)、⑧リードワールドカップ印西(10月27日~28日・千葉県印西市)、⑨JFAユース選手権(2013年1月5日~6日・東久留米スポーツセン

ター)、⑩ボルダリングジャパンカップ(2013年2月23日~24日・駒沢公園体育館)など大きな大会が都内及び近隣で開催されます。

最後に、今や世界的に愛好者が増えているスポーツクライミングは、2020年の夏季オリンピック競技としてIOCよりノミネートされました。これに伴い、欧米の山岳競技団体はオリンピック種目として選ばれる為に様々な活動をしています。日本でも日山協が主体となり、ワールドカップの誘致や様々な国際大会に選手を派遣しています。全国の岳友の力で、山岳競技(クライミング)をオリンピック種目にしようではありませんか。

ジロー jRO 新しい山岳遭難対策制度 入会のおすすめ!!

日本山岳救助機構会員制度

■jRO会員が万一捜索・救助が必要になった時、費用が総額330万円まで補填されます(カバレージ制度)。

■遭難防止講習会、救助隊派遣の斡旋なども受けられます。

■入会金2,000円^{*} + 年会費2,000円 + 1年間の期間終了後、事後分担金
(事後分担金／過去の実績：2008年度900円、2009年度800円、2010年度600円)

他の山岳保険等と比較して低廉です。※入会金は初年度のみ

どんな山行でも
ヘッドライト、雨具、
防寒具は必須装備
さらに
ジロー会員証の
お守りを。

詳しくはHPまたはご案内リーフレットをご覧ください。
<http://www.sangakujro.com/>

お問い合わせ先 TEL. 042-669-5330 (平日10時~18時)
jRO事務センター FAX. 042-669-5331
(セブンエー内) e-mail : info@e7a.jp

